



「やりたい」と「応援したい」が
「運送する」まもづくりファンド

おがわ よしひろ

小川由廣のライオン像 移設プロジェクト



柏崎のライオン像で、

“街と街”、“人と人”、そして後世へとつなげたい

このプロジェクトについて

柏崎市の彫刻師・小川由廣(昭和30年没)が作ったライオン像が柏崎市内のあちこちに現存しています。彼の作品は神社仏閣に奉納されているものが主となりますが、個人が所有されているものも多々あります。今回、市内で3番目に大きなライオン像の所有者が亡くなられ、今後の処遇を心配していたところ、相続された方から「無償で譲渡するので観光に役立ててほしい」と託されたのです。「貴重な由廣のライオン像を、柏崎市の文化観光のシンボルとして後世へとつなげたい」。そんな思いで移設先を探していたところ、彼の生家の菩提寺である浄敬寺様から場所をご提供いただき、今回移設プロジェクトを立ち上げることとなりました。

支援をお願いする理由

今回のプロジェクトは、桜木町個人宅から浄敬寺境内への移転費と、それに伴う台座の新設費の捻出のために行われます。街歩きの出発点として、さらに多くの方々からご覧頂き、柏崎の財産として認識して貰えます様、お力をお貸し下さい。

▶ 今までの活動

発起人の春口敏栄は2018年頃より小川由廣の調査を始め、柏崎日報の自身のコラムで紹介。自費出版で小川由廣に関する書籍を出版後は講演会を開催。FMビッカラでは1年間番組を放送。柏崎観光協会のHPでもコーナーを担当し連載。市内で開催した写真展では多くの来場者を集めている。



代表者からのメッセージ



春口敏栄さんが、町歩き中に神社や民家でたくさんさんの作品を発見しました。数年かけてこれらを整理し、冊子の発刊、市民大学での講義、ロビー展などを続けたおかげで、柏崎市内でもようやく彼の作品を知る人が増えてきました。今回の寄付により沢山の皆様から愛でて頂ける場所への移設が実現できます。躍動的なライオン像を、柏崎観光のシンボルの代表として後世に残すため、是非お力添えをお願い致します。

小川由廣のライオン像移設プロジェクト 代表
押見 正孝

詳しい内容・寄付先のご案内

かしわざき市民活動センターまちからを運営する NPO 法人 aisa が、まちづくりファンド「そーぐー」のサイトに本プロジェクトの内容説明や、寄付受付をしております。詳しくは右記の二次元コードからご確認ください。



プロジェクトの
お問い合わせ norinocc@coral.ocn.ne.jp

「そーぐー」に関するお問い合わせは **TEL:0257-22-2003**
かしわざき市民活動センターまちからまで